図－7　2次系配管の点検等

点検概要

今定期検査において、1，117箇所について超音波検査（肉厚測定）等を実施した。
＜超音波検査（肉厚測定）：1，104箇所、内面目視点検：4箇所、内面目視点検および超音波検査（肉厚測定）：9箇所＞

○2次系配管肉厚の管理指針に基づく超音波検査（肉厚測定）部位

	「2次系配管肉厚の管理指針」の点検対象部位	今回点検開始時点での点検未実施部位	今回点検実施部位
主要点検部位	1,408	0	557
その他部位	1,150	0	547
合　計	2,558	0	1,104

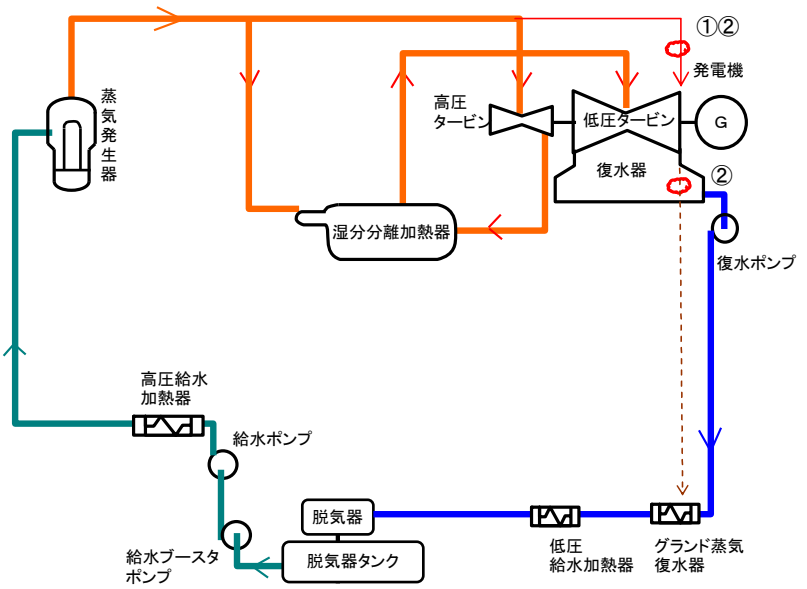
○2次系配管肉厚の管理指針に基づく内面目視点検
高圧排気管の直管部13箇所について、配管内面から目視点検を実施した結果、9箇所の配管内面に減肉傾向が認められたため、超音波検査（肉厚測定）を実施した。

（結果）
○必要最小厚さを下回っている箇所、および次回定期検査までに必要最小厚さを下回る可能性があると評価された箇所はなかった。

取替概要

○余寿命10年未満で減肉が確認された12箇所、保守性を考慮した20箇所、合計32箇所を耐食性に優れたステンレス鋼や低合金鋼の配管に取り替えた。

系統別概略図



【取替理由】

① 余寿命１０年未満で減肉が確認されたため取り替えた（１２箇所）
　炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　１２箇所

② 配管の保守性を考慮して取り替えた（２０箇所）
　炭素鋼 ⇒ ステンレス鋼　１０箇所
　炭素鋼 ⇒ 低合金鋼　１０箇所

合計　３２箇所